

## 幹心腐病（マツノカタワタケほか）

### マツノカタワタケ

幹の心材部を侵す。枝の折れ口や枯枝から子実体（キノコ）が発生していることが多く、このような部位から侵入すると考えられている。子実体が発生しないと、外見からの診断は難しい。

今のところ人工林（最高で70年生程度）では、子実体の発生を確認していない。

大まかな形態的特徴、被害など。

### その他の幹心腐病菌

エゾサルノコシカケ、エブリコ、ツガサルノコシカケ、キチリメンタケ、マツノウロコタケ、チラロコタケモドキ、エゾタケ



マツノカタワタケ